

# 研究通信

№ 82

1972年9月刊  
村落社会研究会  
事務局  
——◇——  
白梅学園短期大学  
社会学研究室  
(11研)内

## 第二〇回 村研大会開催のご案内

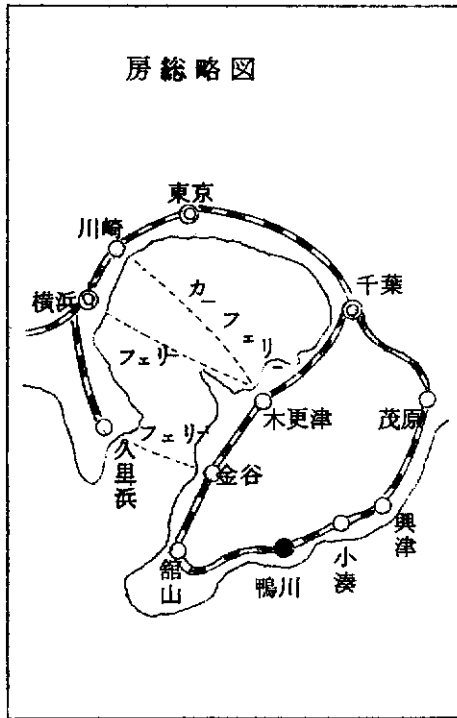
大会期日 一〇月一一・一二日の二日間

本年度の大会の開催地は、研究通信前号で予告しました通り、千葉県鴨川市の国民宿舎「望洋荘」で行うことに確定しました。ここは兩房総鴨川松原海岸に位置し、宿舎から渚までは股間の距離にあり、男性的な外洋の波濤のくだける潮騒に包まれ、芳醇な潮の香を満喫できる自然の環境にめぐまれたところです。例年のような主催者側の行き届いたお世話ができますかどうか甚だ不安ですが、自然の醍醐味をそえることでせめてもの責を果せていただきたいと思います。大会第一日目の一〇月一日は、全館借り切っており、宿泊にも余裕がありますので、多くの方々の参加をえて記念すべき第二〇回大会を意義あるものにしたたいと準備をすすめています。(なお、開催地の選定については、千葉県および中野芳彦会員からご協力をいただきました)。

## 交通ご案内

鴨川は、東京から急行で約二時間四、五〇分、横浜などからフェリーボートの便もあります。

房総略図



- (鉄道) 外房線(急行そと房号) 約二時五〇分、内房線(急行うち房号) 約二時四五分、特急(外・内房各線) 約二時間。
- (フェリーボート) 川崎—木更津(六〇分)、横浜—木更津(八五分)、久里浜—浜金谷(三〇分)、木更津から鴨川までは国鉄うち房線で九〇分、浜金谷から鴨川までは約七〇分です。
- 尚、時刻表は一〇月より改正(九月九日発売)になりますので研究通信の次号に掲載する予定です。
- (駅から会場へ) 鴨川駅から会場「望洋荘」までは、徒歩で約一五分、バス(日東交通バス)・「行川(なめかわ)アイランド」行き、「誕生寺」行き(いずれも海岸廻り)で、「望洋荘前」下車。タクシーならば一区間一八〇円です。

## 宿泊のご案内

宿泊については、大会前日の一〇日から、大会第二日目の二日まで三泊分を、少々余裕をとって予約していただきますので利用下さい。尚、大変申し上げにくいことですが、宿泊予約を取消した場合には、一泊につき五〇〇〇円の解約料を徴収される制度になっていきますので、この点お含みおき下さい。

〔宿泊費〕 宿泊料 一〇〇〇円 (諸経費を含む)

朝食費 二〇〇円 昼食費 三〇〇円

夕食費 四五〇円

△懇親会費 六〇〇円 (但大会第一日目)

〔宿泊等連絡〕 同封の申込葉書で、九月二十五日 までにお知らせ

下さい。尚、それ以後、変更される場合には、

柿崎京一・東京都中野区若宮二一五六―一二一七 〒一

六五 TEL・〇三―三三〇―六七八四

までご連絡下さい。尚、会場の連絡は、

望洋荘・鴨川市広場八二〇 〒二九六

TEL・〇四七〇九―二―二三一一

尚、余白を利用して、現地滞在に時間的余裕のある方のため、宿泊地附近の見学地のご案内をしますと、○誕生寺・鯛の浦 (バスで約三〇分・小湊)、○温室・ビニールハウス花卉園芸地帯 (江見)、○行川アイランド (興津)、○鴨川シーワールド (宿舍隣り)、また、大会終了後、東京に向い際の寄り道 (内房線) として、○館山の石仏群 (金谷下車)、○木更津・京葉工業地帯などがあります。

(柿崎・記)